

イスラエルは停戦協定を破るな！

一方的砲撃・爆撃と45人の殺害を糾弾する

19日、イスラエルは突然「ハマスが停戦違反した」と宣言し、大規模な空爆と砲撃をガザ市や他の地域に行ないました。攻撃で45人の市民が殺されました。イスラエルの攻撃は完全な停戦協定違反で、停戦そのものを破壊する悪質な行為です。ハマスの強い抗議と国際的な非難、米国の圧力でイスラエルは停戦に復帰しましたが、いつ停戦協定を破棄し戦争を再開するかわかりません。

イスラエル軍は停戦開始後も攻撃を繰返し、協定で合意した食料や人道物資の搬入についても、ラファ検問所の解放についても約束を守っていません。食料が届かなかったり、燃料搬入を認めなかったりで、ガザの飢餓状態は改善していません。人質の死体を早く返せと言いながら、捜索に必要なブルドーザーの搬入を認めないなど、悪質な妨害を繰返しています。

私たちはイスラエルに対して要求します。①停戦協定破りの攻撃をやめろ、停戦協定を順守せよ。②ガザ地域内からイスラエル軍を撤退せよ。③戦争終結に向けたハマスとの協議に応じ、占領状態・植民地体制を放棄せよ。イスラエルのガザへの戦争と市民虐殺については非難の声はますます強めています。イタリアでは200万人！が行動に参加し、ストライキでガザとの連帯をアピールしました。スペインやイギリスでも数十万のデモが行われ、政府が厳しく弾圧するドイツでも7万人がデモをしました。世界からの非難の声、そしてボイコット運動でジェノサイド国家イスラエルを包囲しましょう。



停戦でガザ市に向かう市民

トランプは利権追求とガザの植民地計画を放棄せよ パレスチナの民族自決権を認めよ

現在の停戦は9月末のトランプの20項目提案にハマスが答えたので始まりました。トランプの提案は、人質交換、イスラエル軍の撤退、ハマスの武装解除、外国軍による治安維持、トランプをトップにする統治機構による支配と復興利権の独占が主な内容です。いわば、イスラエルに代わって米国とアラブ王政諸国、欧州諸国が新しい植民地として支配し、復興利権はトランプが全部ポケットに入れるというものです。

他方、ハマスが認めたのは、①人質の交換とイスラエル軍の撤退、食料と物資の搬入再開、②戦争終結とパレスチナ人テクノクラートによる無党派の暫定統治機構受け入れだけです。戦争終結協議が始まります。米国もイスラエルも、西側諸国もハマス武装解除＝降伏を要求するでしょう。しかし、植民地住民には武装闘争の権利があり、パレスチナ人の民族自決権は奪いとることはできません。イスラエルは戦争の継続と自分たちの軍事支配・植民地支配の継続を追求していますが、これは論外です。恒久停戦・戦争の終結は、「パレスチナ人のことはパレスチナ人が決める」ことを原則に行なわなければなりません。それになしに問題は解決しません。

新しい植民地化のトランプ提案を批判し、パレスチナの民族自決を認める声を上げましょう。

リブ・イン・ピース☆9+25

<https://www.liveinpeace925.com> Email: info@liveinpeace925.com 2025年10月20日



戦争をやめるまでボイコットでイスラエル協力企業に圧力を！

今すぐボイコット！ イスラエルによるパレスチナ人の
占領、アパルトヘイト、ジェノサイドに加担する企業

BDS運動による優先的なボイコット対象



加えて日本の文脈では…



イスラエル産農産物

BDS運動による圧力対象



日本からの発信
FANUC

BDS運動が支持する
草の根ボイコット対象



localized by: BDS

2025 年 1 月現在

イスラエルは停戦協定を破るな！攻撃をやめろ 抗議の声、要請を届けよう

☐ ガザから撤退せよ！食料搬入を認めろ！飢えさせるな

在日イスラエル大使館 infomation@tokyo.mfa.gov.il / consular@tokyo.mfa.gov.il

在日米国大使館 在日米国大使館のFaceBook [U.S. Embassy Tokyo](https://www.facebook.com/USEmbTokyo) から

メッセージをおくる

☐ 日本政府はイスラエルの停戦破り、戦争再開の動きに反対 せよ、イスラエル製のドローンや武器を買うな

首相官邸 首相官邸ホームページより「ご意見・ご感想」コーナーから送る

外務省 外務省ホームページから「御意見・御感想」コーナーから送る

